

# インタビュー

ugoo(株)  
執行役員COO

## 中川 健太氏

ugoo(株)(ユーゴー、東京都千代田区)の業務DXロボット「ugoo」シリーズの採用が拡大している。移動機能を備えたロボットで、遠隔操作と自動モードのハイブリッド制御によって様々な業務を行うことができ、警備や点検などを中心に労働力不足が顕著な業務のDX化に貢献している。今回、執行役員COOの中川健太氏に話を伺った。

まずは直近の採用状況から伺います。  
中川 警備・点検領域を中心に引き合いが拡大しており、現在までに累計200台以上を出荷した。オフィスビルなどの施設のほか、工場、発電



たことは。

プラント、データセンターなどで実証や導入が進んでおり、阿蘇くまもと空港や平泉町学習交流施設

CVC(コーポレート・ベンチャー・キャピタル)であるNTTDコモ・ベンチヤーズから出資もいただいている。そのほか、星光ビル管理、T.M.E.S、ハリマビステムといったビルメンテナンス企業からも出資をいただいております。

中川 NTT西日本グループとの連携を通じて、ビルの点検・監視などの業務にロボットを活用

ている。そのほか、星光ビル管理、T.M.E.S、ハリマビステムといったビルメンテナンス企業からも出資をいただいております。

中川 以前からコンセプトモデルとして提供していた「ugoo mini」の受注を10月から開

や計器メーカーの値を自動で取得することなどを目指したもので、24年秋から半導体工場での実証を行っており、24年度内のサービスリリースを予定している。

中川 以前からコンセプトモデルとして提供していた「ugoo mini」の受注を10月から開

出荷を開始する予定だ。そのほか、生成AIのLLM(大規模言語モデル)を活用した案内ロボットソリューションの提供を11月から開始した。多言語でスムーズなコミュニケーションを行うことができ、単純な案内機能に加え、警備機能との融合なども可能である。

開発における連携も進めている。



仕組みなどを実現できる。また、Lilz(リルズ)とも業務提携契約を締結した。Lilzが提供

# 業務DXロボットを200台以上出荷

## 警備・点検を中心に業種も拡大

設エビカ(岩手県平泉町)内の図書館などでも活用されている。2024年12月期の売上高は前期比約2倍になる見通しだ。お客様からは、コストパフォーマンス、デザイン性、ユーザーインターフェースの良さなどが評価されており、9月には「第11回ロボット大賞」において、優秀賞(ビジネス・社会実装部門)を受賞した。

24年に取り組まれた

使用する取り組みを進めており、9月にはNTT西日本グループのテルウェル西日本やNTTビジネスソリューションズ、NTTフィールドテクノと協業し、ビル管理業務における清掃・警備ロボット、通信サービス、導入サポート、保守サービスなどをワンストップかつ月額定額制料金で提供する「ロボメンおまかせビルパック」を開始した。また、NTTグループの

り、出資企業とのPOC(概念実証)なども進んでいる。

工場向けの取り組みについて。  
中川 日立プラントサービスならびに日立システムズと連携し、ugooを活用した工場点検作業の自動化サービスを開発している。工場内の温度、湿度などの環境データ

開始した。狭いところにも入ることができる小型の製品で、優れた静音性のほか、55×175cmの高さまで自在にカメラの高さを変えられるテレスコピックポール、点検作業を効率化するAIなどを搭載している。一般的なロボットでは走行が難しいような空間でも安定的に機能し、12月から順次

中川 開発面における企業間連携も重要視しており、その一つとしてAI警備システムを展開するアジラと業務提携を締結した。アジラの行動認識AIとugooを融合し、ugooのカメラ映像を通して施設内の状況を監視することで、通常とは異なる行動を検知した際に、警備員へ通知する

する点検AIサービスとugoo miniを連携し、アナログメーカーの値を自動で数値化する取り組みなどを進めている。こうした機能拡大につながる連携は今後さらに拡大していきたいと考えており、新たなハード・ソフト関連技術をロボット分野へ応用展開することを検討されている方

中川 多くの引き合いをいただいている点検領域を中心に提案を強化し、新たに投入したugoo miniの拡販なども図ることで、さらなる事業成長につなげ、25年は単年で100台以上の出荷を目指していく。そして27年ごろに累計1万台の出荷を実現していきたい。中期的には海外展開も視野に入れており、市場ニーズやローカルパートナーの調査などを進めていく。また、当社は25年1月22・24日に東京ビッグサイトで開催される「ロボテックス」にも出展を予定しており、こうした場で当社の技術をぜひ感じていただきたいと思います。

(聞き手・副編集長 浮島哲志)

工場内を走行するugoo mini

がいればぜひお話をさせていただきます。

25年の方針について。

中川 多くの引き合いをいただいている点検領域を中心に提案を強化し、新たに投入したugoo miniの拡販なども図ることで、さらなる事業成長につなげ、25年は単年で100台以上の出荷を目指していく。そして27年ごろに累計1万台の出荷を実現していきたい。中期的には海外展開も視野に入れており、市場ニーズやローカルパートナーの調査などを進めていく。また、当社は25年1月22・24日に東京ビッグサイトで開催される「ロボテックス」にも出展を予定しており、こうした場で当社の技術をぜひ感じていただきたいと思います。